

生駒市立鹿ノ台中学校

第1号



校長室だより

令和6年4月11日

4月8日の始業式に続き、昨日の入学式で83名の1年生を迎えました。多くの人が新しい環境に少しずつ慣れつつある頃だと思えます。1年生の皆さんは、まだわからないことや知らないことがたくさんありますが、先生方や先輩方から教えてもらいながら、一つずつ覚えていきましょう。



新年度のスタートにあたって

【入学式式辞より 中学校生活で心がけてほしいこと】

一つ目は、「自分自身の目標を持ち、夢や希望に向かって、粘り強く挑戦していく」ということです。本校で学ぶ三年間は、皆さんの将来の夢や希望の実現に向けて、一步一步歩みを進めていく大切な期間です。ご家族や先生方のサポートを受けながらも、皆さんが主体的に自分で歩いていかなければなりません。そのために大切なのは、まずは「挑戦すること」です。取り組む中では、時に困難が待ち受けていることもあるでしょう。そのためには、何事もあきらめず、粘り強く、積極的に行動することが必要です。皆さんの夢や希望の実現のために、目標を持って挑戦することが、みなさんを必ず成長させます。中学校生活で、目標を実現するために粘り強く最後まで「挑戦し続けること」の大切さを学んでください。

二つ目は、「人と共に生きる力を身につける」ということです。皆さんがこれから中学校で学び、身につけていくことからは、人と共に生きる力があって、はじめて社会で生かすことができます。そのためには、相手の思いを理解したり、自分の思いを理解してもらったりすることが何より大切です。相手を受け入れようという姿勢、相手を理解しようという姿勢があれば、自分の思いも、相手に伝わっていきます。「相手を認め、思いやる心、真心」を持って、「感謝の気持ちを忘れずに、人に優しくする態度」を大切に、人のために尽くして物事に当たれば、必ず思いは伝わり、心を動かすことができるのです。

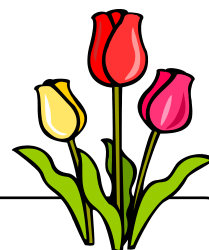
【始業式式辞より】

鹿中生になってから1年・2年がたち、新2年生、新3年生へと進級しますが、入学したときの初心は今も心の中にありますか。今日、新しい学年のスタートにあたって、入学の時の新鮮な気持ちで、「今度はこうしよう」と思った初心を思い出してほしいと思います。こうしようと思ったことがうまく進められている人は、初心を忘れずに続けましょう。うまくいかなかったという人は、新しい2年生として、新しい3年生として、充実した生活をスタートさせるために、1度リセットして、今年は、こういうことをしたいという、新たな初心をもって、ぜひ今日から少しずつ努力を重ねてください。

鹿中生の一人一人が「今、ここから、こうしよう」という決心をもって、よいスタートを切ってほしいと思います。

～◇新しくお迎えした先生方の紹介◇～

- | | | |
|---------------|--------------|---------------|
| ○国語 寺田 澄子 先生 | ○社会 高野 晶子 先生 | ○社会 亀井 優人 先生 |
| ○数学 梶谷 雄大 先生 | ○理科 古川 博一 先生 | ○理科 楠 友悠 先生 |
| ○英語 川合 紗智子 先生 | ○英語 山下 若菜 先生 | ○家庭 小川 みなみ 先生 |



保護者の皆さまへ

校長の依田麻衣子と申します。ご縁に恵まれ、鹿ノ台中学校で4年目を迎えることとなりました。生徒とともに教職員一丸となって、教育活動に取り組む所存です。どうか、ご理解とご支援賜りますようよろしくお願いいたします。

※ 本校のHP「学校生活の様子(X)」にて、随時、生徒たちの活動の様子をアップしています。